



7月27日(月)

災害ごみの処理力強化へ

〈災害廃棄物処理で三光(株)と協定締結〉

三 光株式会社と伯耆町は7月27日(月)、「緊急事態発生時における廃棄物処理に関する協定」を締結しました。

本町の一般廃棄物は現在、クリーンセンター(南部町法勝寺)とリサイクルプラザ(伯耆町口別所)の2か所で処理しています。

この協定は、新型コロナウイルスなどの感染症拡大や地震などの災害で、これらの施設が処理能力を超えてしまった場合に、廃棄物の処理が円滑にできるように、可燃・不燃ごみの処理について協力を要請するた



▲三光(株)三輪昌輝社長(左)と森安保町長

8月6日(木)

1,000円引きクーポンで観光需要喚起

〈Welcome伯耆町キャンペーン始まる〉

伯 耆町は
8月6

日(木)、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で落ち込んだ観光需要を喚起するため、町内のホテルやペンションなどの

宿泊施設とゴルフ場の計22施設へ、利用料が1人当たり1,000円引きになるクーポン券を合計3万枚配付しました。

国の観光・飲食業支援策「Go To Travel キャンペーン」や他の割引制度と併用可能で、8月7日から翌年2月末まで利用できます。

クーポンを受け取ったロイヤルホテル大山・平井航介総支配人は「宿泊だけでなく館内の食事やショッピングにもご利用いただき、もう一度大山にきたい、ロイヤルホテル大山に泊まりたいというリピーターの方が増えると期待しています」と話しました。



▲クーポンを受け取るロイヤルホテル大山・平井航介総支配人(左)

8月10日(月)

畑一面夏色に

〈休耕田を利用したヒマワリが満開〉

8

月上旬、町内各所の農地でヒマワリが見ごろを迎えました。鮮やかな黄色の大輪が畑一面に広がり、青空や田んぼの緑とのコントラストが美しく、思わず足を止め、カメラを構える人の姿も多くなりました。

伯耆町は、菜の花やレンゲ、ヒマワリの種を無料で配布し、休耕田の地力維持・増進と景観保全を支援しています。この事業は4年前から始まり、年々参加者が増えています。今年も12人の農家に参加し、町内およそ10ヘクタールの畑でヒマワリが咲きました。



▲畑一面に咲き誇るヒマワリ(伯耆町遠藤、8月10日撮影)

